

4年生 台湾との交流会 part2

昨日(21日)、4年生は台湾の小学生との交流会を実施しました。「もっとわくわく通信107号」でもお知らせしたとおり、台湾の大庄國小学校の4年生の小学生たちとオンライン上での2回目の交流会を実施しました。台湾の子供たちは、日本文化に興味をもっているようで、リコーダーで「となりのトトロ」を演奏したり、日本語であいさつをしたりと、日頃の学びを披露してくれました。



また、台湾での運動会の様子やその際に披露したダンスも映像で教えてくれました。帯西からも、子供たちが中心となってまとめてくれた各学級の紹介ビデオを流し、互いの学校の様子を知ることができたようです。子供たちは「『👁️ 帯西イエロー』の心が伸びました。『世界の国々に親しむ』ピースの心も伸びたし、友達と協力してビデオを作れたからです。」「『🔥 帯西レッド』の心が伸びました。台湾の部活動は、日本と同じ様なスポーツがあることがわかったし、卓球は台湾の方が盛んだということも知ることができたからです。」と交流会の感想を述べていました。

これからの世界の生きる子供たちにとって、互いの文化を尊重する態度や異なる文化を持った人々と共に生きていく態度などを育成することは、とても意義のあることです。互いの文化を知るということは、我が国の歴史や伝統文化などについての理解は不可欠となります。そういう経験を重ねていくことが、自分に磨きをかけることに繋がっていくのです。

学校百景㊫ 花いっぱいの花壇

豊かな自然を次世代に繋いでいくことを目的に誕生したイベント「くまもと花博」が開催されていました。熊本市中心市街地と水前寺江津湖公園、さらに雁回山の3つのエリアで訪れた人々の心を潤してくれました。その花博終了後の花の配布がありましたので、帯西でも花をもらいに行き、今日その花々を緑化委員会の子供たちが植えてくれました。



花博のイメージを受け継いで、黄色門から入って左手の花壇と、右奥の花壇が花いっぱいになっています。子供たちからは「2週間くらい前から、土に肥料などを混ぜて、土づくりをしていました。今日は学校のために花を植えることができ達成感があります。」「学校に来ると、すぐに花が迎えてくれるようで、嬉しいです。」「花が多いと花壇もにぎやかになって気持ちいいです。」という声が聞かれました。緑化委員会の皆さん、朝から心が華やかになる活動をしてくれて、ありがとうございました。